

上級クラス Advanced Class	A(SS)–CONV
<u>クラス名 Title</u> 【技能別】 上 級 会話 Advanced: Conversation	プレースメントテスト [ある] 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> 河上 志貴子 (KAWAKAMI, Shikiko)	
<u>教科書 Textbook</u> 必要に応じて、授業中に資料を配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> - 現代社会のさまざまな問題を取り上げたニュース番組、記録映画や特集を題材にして、ディスカッション、グループワークや口頭発表をもって、より専門的な内容について説明する練習や議論する練習を重ねる。また、情報収集などの場面で、欲しい情報を効率よく入手できるように質問の工夫や練習もする。 - ニュース解説などの特有の表現を身につけ、複雑で難易度の高い事柄を誤解のないように、また簡潔に伝えられるように練習を行う。 2～3回、会話・発音の小テストも実施する予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> - ニュースや論説の趣旨を正確に把握し、的確に、且つ簡潔に相手に説明できるようにする。 - 数人による会話や議論の場で、自分の意見を分かりやすく纏めて、効率よく他者に伝えることができるようにする。また、表現への配慮をしつつ、バランスよく意見を尋ねたり、同意や反論を述べたりするなど、相手に不快感を与えない会話を行うための工夫ができるようにする。 - 上級レベル（日本語能力試験N1に相当）の文法や語彙をさまざまな場面で使えるように応用力を身につける。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 出席を重視する。このクラスでは、毎回の学習活動への積極的な参加が求められる。このほか、小テストと口頭発表も評価の対象とする。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> 初日にプレテストを実施するので、必ず初回から出席すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－R／DIS
<u>クラス名 Title</u> 【技能別】 上 級 時事日本語 Advanced: Reading / Discussion	プレースメントテスト [ある] 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> 澤西 穂子 (SAWANISHI, Toshiko)	
<u>教科書 Textbook</u> 新聞記事等を選び、コピーを配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> 様々なジャンルの新聞記事等を読み、その内容の理解、把握を十分に行う。えで、その内容について話し合いを行う。 (ビデオ等を見る場合もある) また参加者が各自関心のあるテーマを選び発表する機会を設ける予定である。自分の国との比較など、積極的に意見を出し、授業に参加してもらいたい。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> 新聞記事、ビデオ等の読解力・理解力を養うこと。 自分の意見をわかりやすく表現できる力を養うこと。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 出席状況・参加態度・漢字小テスト・復習テストにより、評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> 桂キャンパスで開講する「上級日本語講座」も同じレベルです。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)ーR
めい クラス名 Title ぎ のうべつ じょうきゅう こうどく 【技能別】 上 級 講読 Advanced: Reading	プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]
こうし 講師 Instructor あおたに まさやす 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)	
きょうかしよ 教科書 Textbook いのうえせいび あがわひろゆき しんちょうぶんこ 『井上成美』阿川弘之 (新 潮 文庫)	
じゅぎょう すす かた 授業の進め方 Content of the class どつかい 読解のクラスですが、関連事項の話し合いも少しは入ります。	
とうたつ もくひょう 到達の目標 Goals of the class かた ぶん な とも せんそう はんたい にほん さいご かいぐんたいしょう い ざま まな やや堅めの文に慣れると共に、戦争に反対した日本最後の海軍大 将の生き様を学 びます。	
ひょうか ほうほう 評価の方法 Assessment じゅぎょう さんか 授 業 への参加。	
た ちゅうい その他の注意 Miscellaneous むずか ほんぜんたい よ こと で き とちゅう と 難 しいので、本全体を読む事は出来ません。途中で飛ばしたりします。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－G
<u>クラス名 Title</u> 【技能別】 上 級 総合文法 (1) Advanced: Grammar (1)	プレースメントテスト [ある] 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 〔参考図書：『どんな時どう使う日本語表現文型500』（アルク）、『日本語文型辞典』（くろしお出版)〕	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を幅広く取り上げながら、それらの意味・用法を解説する。学んだ文型が実際に使われている新聞記事や随筆などを用いた、様々な応用練習を通して運用力の習得を目指す。 更に、言語観を養うために日本語表現についてのクイズやディスカッションも行う予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある日本語の仕組みについて理解力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 期末テスト、小テスト、課題提出、作文、発表、授業参加度合、出席を総合して評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> 上級総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマのみの受講も可能である。N1レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋学期継続して(1)、(2)両クラス（合計4クラス）を受講すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－G
めい クラス名 Title ぎ の う べつ じょうきゅう そうごうぶんぽう 【技能別】 上 級 総合文法 （2） Advanced: Grammar (2)	プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]
こうし 講師 Instructor パリハワダナ ルチラ （PALIHAWADANA, Ruchira）	
きょうかしょ 教科書 Textbook はいふ プリント配布 さんこうとしょ と き つ か に ほん ご ひょうげん ぶんけい に ほん ご ぶんけい 〔参考図書：『どんな時どう使う日本語表現文型500』（アルク）、『日本語文型 じてん しゅつぱん 辞典』（くろしお出版）〕	
じゅぎょう すす かた 授業の進め方 Content of the class に ほん ご の うりょく しけん ひょうげん ぶんけい なか じゅうよう こうもく せんたく 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型の中から重要な項目を選択し、それら い み ようほう かいせつ と あ ひょうげん つか ぶんしょう どっかい れいぶん さくせい の意味・用法を解説する。取り上げる表現を使った文章の読解や例文の作成な おうようれんしゅう とお うんようりょく しゅうとく め ざ どの応用練習を通して運用力の習得を目指す。 と あ ぶんぽう こうもく き づ ご いう つか かた 取り上げる文法項目について、気付きにくい誤用やわかりにくい使い方などに しょうてん あ て き ぎ おこな ぼ ご ひかく おこな 焦点を当てながら適宜ディスカッションを行う。母語との比較などを行うこと ひょうげん つか かた げんり しゅうとく によって、それらの表現の使い方の原理を習得する。	
とうたつ もくひょう 到達の目標 Goals of the class に ほん ご の うりょく しけん ひょうげん ぶんけい しゅうとく はいけい 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある に ほん ご し く り か い り ょ く や し な 日本語の仕組みについて理解力を養う。	
ひょうか ほうほう 評価の方法 Assessment きまつ しょう か だ い て い し ゅ つ じ ゅ ぎ ょう さん か ど あ い し ゅ つ せ き そう ご う ひょう か 期末テスト、小テスト、課題提出、授業参加度合、出席を総合して評価する。	
た ちゅうい その他の注意 Miscellaneous じょうきゅう そう ご う ぶん ぽ う こと ぶん ぽ う こう も く と あ 上 級 総合文法(1)、(2)クラスで 異なった文法項目を取り上げるので、1 コマの じゅう かう の う ぜん ぶん ぽ う こう も く しゅう と く ば あ い は る が つ き あ き みの受講も可能である。N1 レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋 が つ き け い ぞ く り ょう ご う け い じゅう とう じゅう とう 学期継続して(1)、(2) 両 クラス（合計4 クラス）を受講すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－LIS
<u>クラス名 Title</u> 【技能別】 上 級 聴 解 Advanced: Listening	プレースメントテスト [ある] 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> 阪上 彩子 (SAKAUE, Ayako)	
<u>教科書 Textbook</u> 授業中に配布する。 さまざまなメディア教材（ニュースやドキュメンタリー、討論番組などの生教材）を使用する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> - さまざまな分野におけるメディア教材を使用し、聴解力の向上を図る。 - 主にNHK『クローズアップ現代』などのアカデミックな番組を通し、教育、文学、福祉、環境、科学などの分野に関するアカデミックな語彙や表現の習得、理解を目指す。 - 情報の聞き取りやシャドーイング、内容に関するディスカッション、要約の練習も行う。 - 毎回、時事に関するリスニングの小テストを行う。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> - 高度な日本語の聴解力を養い、情報の背景にある日本文化や社会事情に対する理解も深めることを目指す。 - アカデミックな語彙や表現の向上を目指す。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 出席を重視、小テスト、最終テスト	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> 1回目の授業で、聴解レベルを測るプレテストを行うので、必ず出席すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)－COMP
<u>クラス名 Title</u> 【技能別】 上 級 作文 Advanced: Composition	プレースメントテスト [ある] 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 [参考図書:『大学・大学院留 学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> 授業では毎回論 述 文を課す (400字程度)。プリントでも学 術 的 論 述 に必要 な表 現を学び、表 現レベルを上げていく。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> ①日本語でレポートや学 術 論文などを書く 力をつけるために、学 術 的 表 現で よく使われる文型、表 現や展開パターンを習 得する。 ②グラフや引用文献を用いて、それについて論 じる技術を身につける。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 授 業で書いた論 述 課題の評価と出席による。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–R/G
めい クラス名 Title ぎ の う べ つ じ ょう き ゅ う ど う かい ぶ ん ぽ う 【技能別】 上 級 読解・文法 Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ある] めん せ つ 面接 [ない]
こう し 講師 Instructor ほん だ あ か り 本多 朱里 (HONDA, Akari)	
き ょう か し ょ 教科書 Textbook ち ゅ う じ ょう き ゅ う に ほ ん じ ょう たい だ い ほ ん と う き ょう だ い が く し ゅ つ ぱ ん か い 『中・上級日本語教科書 日本への招待 第2版』(東京大学出版会) ち ゅ う き ゅ う じ ょう き ゅ う に ほ ん ご 『中級から上級への日本語』(The Japan Times)	
じ ゅ ぎ ょう す ず か た 授業の進め方 Content of the class お ん ど く い み り か い な に の か く じ テキストを音読しながら、意味を理解し、何を述べているのかを各自まとめてもら います。文法的説明が必要な所は解説します。その後、その内容について、受講生 でディスカッションをします。関連する資料を配ることもあります。	
とう た つ も く ひ ょう 到達の目標 Goals of the class なん か い ぶ ん し ょう ど う かい に ほ ん ご ぶ ん ぽ う り か い に ほ ん やや難解な文 章の読解や、日本語の文法のさらなる理解をめざすとともに、日本の ぶ ん か に ち じ ょう て き も ん だ い じ ぶ ん ふ か か ん が い け ん ほ か ひ と 文化や日常的な問題について自分なりに深く 考 え、まとめ、その意見を他の人に つ た ち か ら み も く ひ ょう 伝えられる 力 を身につけることを目 標 とします。	
ひ ょう か ほ う ほう 評価の方法 Assessment し ゅ つ せ き さ ん か た い ど そ う ご う ひ ょう か 出席、参加態度、レポートを総合して評価します。	
た ち ゅ う い その他の注意 Miscellaneous よ し ゅ う ば あ い か だ よ う か 予習する場合は、貸し出し用のテキストを「きずな」から借りることができます。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)ーR
めい クラス名 Title せんもんべつ じょうきゅう ろんぶんこうどく 【専門別】 上 級 論文講読 Advanced: Reading	プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
こうし 講師 Instructor ながやま ひろあき 長山 浩章 (NAGAYAMA, Hiroaki)	
きょうかしよ 教科書 Textbook にほん づく てつがく ふじもとたかひろ にっぽんけいざいしんぶんしゃ 『日本のもの造り哲学』（藤本隆宏）日本経済新聞社（2004） かつがん かつがく やすおかまさひろ けんきゅうしょ 『活眼 活学』（安岡正篤）PHP 研究所（2008） はっそうでんぶんり せいじけいざいがく ながやまひろあき とうようけいざいしんぽうしゃ 『発送電分離の政治経済学』（長山浩章）東洋経済新報社（2012）	
じゅぎょう すす かた 授業の進め方 Content of the class こうどく ちゅうしん にほん さんぎょう せいぞうぎょう でんりよく じじょう き そ ・講読を中心に日本の産業・製造業、電力・エネルギー事情についての基礎 ちしき かんが かた まな 知識と 考え方を学ぶ。 がくせい りんどく あと けいざいようご はいけいちしき かいせつ おこな ・学生が輪読をした後、経済用語や背景知識について解説を行う。 ひつよう おう えいぶんわやく しゅくだい だ ・必要に応じて英文和訳の宿題を出す。	
とうたつ もくひょう 到達の目標 Goals of the class だいがくいん にゅうし ごうかく にほん ごりよく しゅうとく ほ 大学院の入試に合格する日本語力を習得して欲しい。	
ひょうか ほうほう 評価の方法 Assessment かい しゅつせき そうごうてき ひょうか テスト2回と出席などによって総合的に評価する。	
た ちゅうい その他の注意 Miscellaneous なん ど たか ようご かいせつ ようやく はいふ じゅんび 難度の高い用語の解説とポイントをまとめた要約を配布するので準備をすること。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)ーR／G(CJ)
めい <u>クラス名 Title</u> せんもんべつ じょうきゅう ぶんごぶんこうどく 【専門別】 上 級 文語文講読 Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
こうし <u>講師 Instructor</u> もり まりこ 森 眞理子 (MORI, Mariko)	
きょうかしよ <u>教科書 Textbook</u> はいふ プリント配布	
じゅぎょう すす かた <u>授業の進め方 Content of the class</u> ひょうじゅんにほんご しゅうとく お おも せんこう ぶんごぶん よ ようきゅう がくせい 標 準 日本語の習 得を終え、主に専攻で文語文を読むことを要 求される学生に たい ぶんご か ぶんしょう と あ ぶんぼうせつめい くわ き ところどく おこな 対して、文語で書かれた文 章を取り上げ、文法説明を加えながら基礎講読を行 う。入門的な文 章から始めて、明治時代の日本の文学、文化、歴史、法律に関す ぶんしょう ちゅうしん じゅんじこうどく よてい ふくざわ ゆ きち もりおうがい る文 章を中心、順次講読していく予定である。これまでに、福沢諭吉、森鷗外、 なかえちやうみん めいろくざっし ぶんしょう あつか 中江 兆 民、『明六雑誌』などの文 章を扱った。	
とうたつ もくひょう <u>到達の目標 Goals of the class</u> きほんてき ぶんごぶん よ ぶん い み りかい てきせつ げんだいご お か 基本的な文語文を読み、文の意味を理解し、適切な現代語に置き換えることができる。	
ひょうか ほうほう <u>評価の方法 Assessment</u> しゅつせき じゅぎょうさんかたいど かだいていしゅつ さいしゅう など ひょうか 出 席、授 業参加態度、課題提 出、最 終テスト等によって評価する。	
た ちゅうい <u>その他の注意 Miscellaneous</u> おも じんぶんけい がくせい たいしょう ぶんや がくせい じゅこう 主に人文系の学生を対 象とするが、どの分野の学生でも受講できる。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)－R/COMP
<u>クラス名 Title</u> 【専門別】 上 級 文 章 法 Advanced: Reading / Composition	プレースメントテスト [ある] 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> 森 真理子 (MORI, Mariko)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> 日本文化・日本社会および日本人論や現代文化を扱った様々なスタイルの文章をクラス全員で読み進める。 読んだ後必ず討論の時間をとるので、自分の意見を発表すること。読み進める際、必要があれば、各人の発音をチェックすることがある。 一つのテーマにつき2－3回の講読・討論を行い、その後テーマにそったレポートを提出する。 提出された各人のレポートは必ずコメントを加え返却するので、積極的に文章を書く練習をしてもらいたい。 なお、読解法では難度の高い文章の読解力も要求されるが、発表や作文では各人の現在のレベルを確実に上げることを目標とする。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> 講義を理解するために必要な上級レベルの日本語文の読解能力を高め、自分の意見を誤りなく伝えることのできる口頭表現能力や、文章化する作文能力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 一学期に少なくとも2回の課題レポートを提出し、最終レポートを決められた期日までに書くこと。 授業に出席して、講読・議論に参加すること。 成績判定はこれらの総合評価によって行う。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> - 配布された文章は前もって必ず目を通し、疑問点を明らかにしておくこと。 - 参考図書等は授業中に指示する。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)－P／DIS
<u>クラス名 Title</u> せんもんべつ じょうきゅう けんきゅうはつびょう しつぎおうとう 【専門別】 上 級 研 究 発 表 ・ 質 疑 応 答 Advanced: Presentation / Discussion	プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> ルチラ パリハワダナ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 [参考図書:『大学と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)、『トピックによる日本語総合演習－テーマ探しから発表へ－上 級』(スリーエーネットワーク)、『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> 導入、問題提起、データを用いた論拠、結論提示、展望提示などといった研究発表の各部分で用いられる日本語表現の使い方を学ぶ。モデルを用いた練習などを取り入れつつ、一つのテーマについて、アウトライン作成から実際の発表を行う段階まで実践を行う。実践を通して日本語の論文スタイルに慣れ、日本語のプレゼンテーションスキルを習得する。レジュメ、スライドなどの作成や質疑応答の練習なども行う予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> 学術研究発表のために必要な日本語表現の獲得及びプレゼンテーションスキルの習得を到達目標とする。	
<u>評価の方法 Assessment</u> 発表、授業参加度合、課題提出、出席を基準に評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	